

消化器内科 | 尾崎 由直

私は初期研修・消化器内科での後期研修後、京大病院で消化器がんを中心に、肺・乳腺・婦人科など様々な領域のがん診療の研修・臨床に従事していました。今後、腫瘍内科医としての役割をより一層発揮して、当院及び地域のがん診療のレベル向上に貢献したいと考えています。

近年の抗がん剤治療の進歩は著しく、適切な使用によってがんを薬で治すことも期待される反面、治療には高度な知識と技術が必要です。最近では患者さん自身が様々な治療法を選択できるようになりましたが、同時にインターネットや書籍などにがんに関する情報があふれています。正確な情報を伝え、誤った意思決定や不適切な治療選択を防ぐのも、腫瘍内科としての役目です。ガイドラインには標準治療が示されていますが、それが患者さんにとって最適な治療とは限りません。その方の人生の目標や希望に沿った治療を提供することも重要であり、効果・副作用などを踏まえ、治療で何を大事にするかを患者さんと一緒に決めていくことも大切と考えています。

がんに関することについて気になることがあれば、適宜受診・相談ください。